

逆風は大きな仕事を成し得る原動力

～私の使命は川俣駅を仕上げる事！～

平成 27 年 4 月 26 日、私は明和町長に就任しました。当時はどうしても川俣駅を私の手で仕上げなければならないという使命感を感じ、町長に立候補し、当選後はさっそく駅周辺事業に取り組みました。



【H27.6.17 川俣駅舎の橋上化鉄骨の組み上げ始まる】

そして、川俣駅は平成 28 年 1 月に竣工し、視察ラッシュが始まりました。ある日、国交省の方々が新しくなった川俣駅を視察し「東西が開いていて十分に当初の目的を達成でき、コンパクトシティ構想のモデル

地区として期待している。」と言われました。私は「ハッ」としました。川俣駅は、コンパクトシティ構想の都市作りをする約束で補助金をいただいたので、もし実現できなかつたら今後の国交省からの補助事業は縮小になるかもしれません。町の財政力を伸ばし、元気な町を作るためには、これからも国交省の協力は不可欠です。私にしてみれば、新米の町長にのしかかるプレッシャー（逆風）でした。



どうやってコンパクトシティを作る構想を実現していくか？考えれば考えるほど眠れぬ夜は続きます。まさに経験のない領域に不動産屋の経験だけで挑んで行く、大逆風の吹き荒れる中の航海でした。

【「風」に合わせて「帆」を変える】

人生 100 年時代といわれる中、個人の生活でも予想もしなかったこと、想定外の事態は次々と起きていきます。つまり、人生に「順風満帆」はあり得ない、ということです。

しかし、「順風満帆」といえば、帆をいっぱい膨らませてくれる一方からの風である「追い風」のイメージがあります。海上も人生も、いつも追い風ばかり吹いているわけではありません。いや、どちらかといえば、横風や斜め風、逆風のときのほうが多く、台風のような大嵐に遭遇することもあります。風向きが変わったらそれに合わせて帆の向きも変える、そんな臨機の生き方ができるならば、ワザありの「順風満帆の人生」が送れるかもしれません。

【逆風！アゲインストを利用する】

「吹いている風がまったく同じでも、ある船は東へ行き、ある船は西へ行く。進路を決めるのは風ではない、帆の向きである。人生の航海でその行く末を決めるのは、なぎでもなければ、嵐でもない、心の持ち方である」とアメリカの詩人であるエラ・ウィーラー・ウィルコックス（米国の女性作家、詩人 / 1850～1919）は言いました。

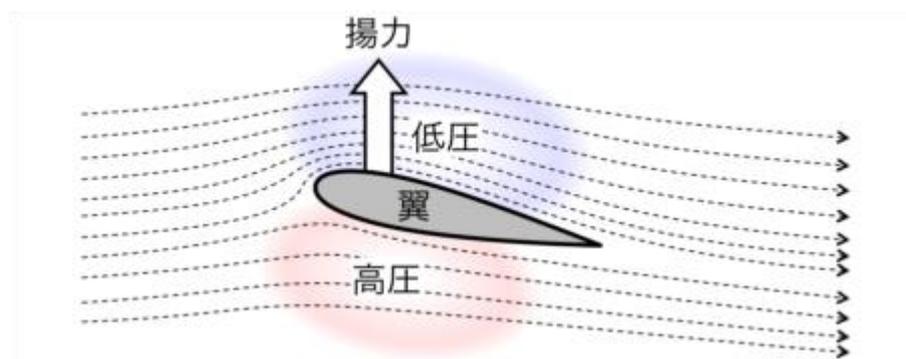
追い風や順風満帆は長い人生においてほんの一時のことであり、多く

の人の人生には逆風がたくさんあると思います。でも、どんな逆風でも帆の向きを変えて目的地へ向かう工夫は出来るはずです。

【ベルヌーイの定理とは？】

ヨットが風上に進む仕組みは、飛行機が空を飛ぶ仕組みと同じです。

飛行機の翼は、すさまじい速さの空気の流れを利用して、機体の重さを上回るほどの揚力（ようりょく）を得ています。これには、上部に盛り上がったような翼の形が深く関係します。また、空気には粘性（ねばりけ）があり、翼の形に沿うように流れる性質をもっています。



翼上部の湾曲したラインに沿って流れる空気は、湾曲のない翼下部の空気よりも高速で流れて

いくということが知られています。一般に流体は高速で流れるほど圧力が小さくなることが知られているため、翼の上方では気圧が低く（翼を押し下げるチカラが小さい）、翼の下方では気圧が高い（翼を押し上げるチカラが大きい）という状況が生じることとなります。この圧力差によって揚力が生まれ、飛行機は浮いているわけです。実は、風上に向かうヨットにも、風を受けたセールにも飛行機と同様、空気の圧力差によ

るチカラが発生します。この力を利用して帆船を風向きに対して、45度の斜めに走らせる事が出来ます。まさに風に逆らって進むことが出来ます。まさしく自分の意志で方向を決められるという事です。

【風に立ち向かうヨットに人生を重ねる】

逆風でも前進するヨットには、人生の教訓のようなメッセージ性を感じますね。だから、物事がうまくいかずにつらいときには、帆船のことを思い返してみるといいと思います。



逆風で正面から立ち向かうことがつらい場合、少し角度を変えてゆっくり斜めに進んだらいいのです。時には方向転換（タッキング）をしながら、帆船は斜め進行なが

らも、広い視点で見ると着実に進んでいます。タッキングを繰り返して風上に向かうヨットのように人生を乗り切ることが順風満帆の人生です！

【向かい風があるから飛び立てる】

「逆風に陥ったら思い出せ。飛行機は向かい風があって飛び立てるのであって、追い風に運ばれるわけではないのだ」と、アメリカの世界的な自動車会社であるフォード社の創設者ヘンリー・フォードが言いました。ヘンリー・フォードは16歳のとき機械工の職に就きその後エンジニアに、そしてガソリン自動車の開発に力を注いでフォード社の設立に至りました。



このように、先人賢者達は勇気百倍の言葉を遺してくれました。帆船が逆風でも前に進めるベルヌーイの定理や、先人賢者の名言等を聞いていると、むしろ人生逆風の方がより多くの仕事が出来、ファイトがみなぎ漲る気がしてきませんか？

そして、逆風に向かって頑張っている人には必ず味方が増えます。言うならば、逆風は決して敵ではあり



ません。逆風とは、自分の人生に大きく味方を増やしてくれ、その人々の力を借りて進む推進力をくれる香辛料（スパイス）の様なものだと感じます。その逆風をどうやって味方にするか？逆風をチャンスにする気概が必要です。

今「損」だと思っているものが、1年後に「得」になったりするのはよくあることです。「正」や「善」にしても、時代、価値観、地域が変われば簡単に評価がひっくり返ってしまうものばかりです。

また、般若心経では、対立概念の境目で思考停止せずに「正と誤などの対立概念からは離れたほうがいい。気にしないほうがいい。そう悟りなさい」と説いているそうです。

【逆風とは原動力である】

当初、私は町長としてただ夢中で、前に進める方法だけを考えて実行に移してきました。しかし、前ばかりを見ていると、やがて行き止まりになってしまうことに気付きました。正に向かい風です。

しかし、向かい風だからこそ県庁の部課長のところ、知事のところに通いました。衆議院会館にもあしげく通いました。皆さんの協力をいただき、

遠回りしながらも一つ一つをクリアしながら進みました。順風満帆ならば何もせずいたことでしょうし、人との出会いもなかったと思います。

今年の4月の人事異動では、新任部長が3人、東の端の明和町長にわざわざ就任の挨拶に来てくれました。私もとうとうこんなに人脈を増やすことができたと思いました。それは逆風だから出来た事柄です。逆風は大きな仕事を成し得る原動力だと思います。

令和4年8月10日

明和町長 富塚 もとすけ